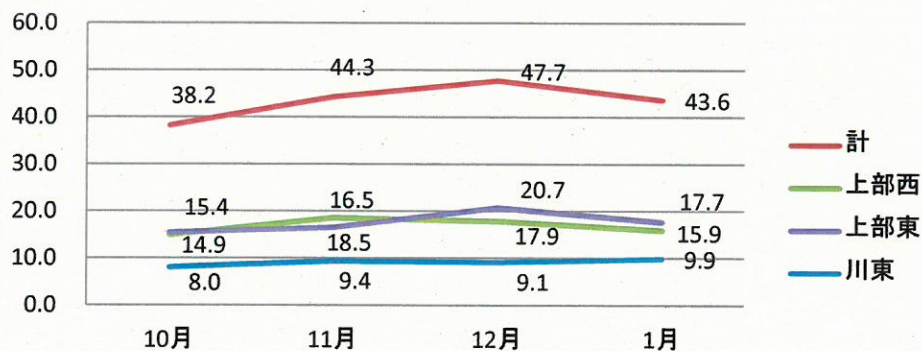


デマンドタクシー拡大後の実績

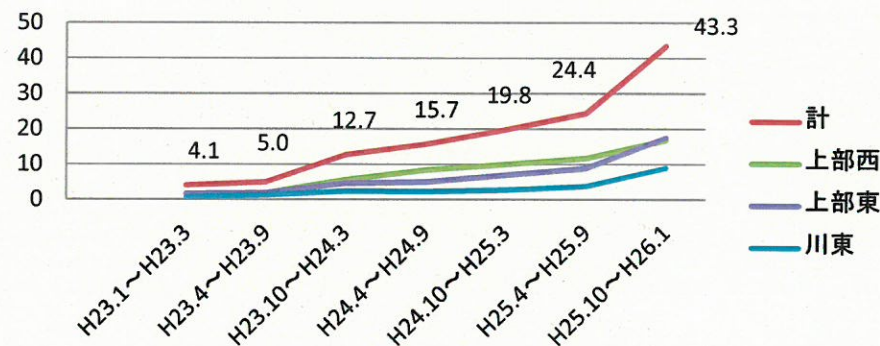
●一日当たりの利用者数の推移等

エリア	10月			11月			12月			1月			計			
	利用者数	一日当たり	一台当たり	利用者数	一日当たり	一台当たり	利用者数	一日当たり	一台当たり	利用者数	一日当たり	一台当たり	利用者数	一日当たり	運行台数	一台当たり
上部西	327	14.9	1.9	370	18.5	2.0	340	17.9	2.1	303	15.9	1.9	1340	16.8	680	2.0
上部東	339	15.4	1.9	329	16.5	2.0	393	20.7	2.3	337	17.7	2.1	1398	17.5	673	2.1
川東	175	8.0	1.7	187	9.4	1.7	173	9.1	1.6	188	9.9	1.7	723	9.0	428	1.7
計	841	38.2	1.8	886	44.3	1.9	906	47.7	2.0	828	43.6	2.0	3461	43.3	1781	1.9

一日当たりの利用者数の推移
(H25.10月～H26.1月)



一日当たりの利用者数の推移
(試験運行開始から)



○平成25年10月のエリア拡大後(H25.10～H26.1・80日間)の利用者数は、上部西エリア1,340人、上部東エリア1,398人、川東エリア723人、合計3,461人で、一日当たりの利用者数は43.3人であり、拡大前の平成25年度上半期(H25.4～H25.9)の24.4人と比べ2倍近くまで増加している。

○4ヶ月間の運行台数は1,781台であり、一台当たりの利用者数は、3エリア合計で1.9人であった(平成25年度上半期は1.6人)。なお、月別では、12月、1月が2.0人であり、増加傾向にあると思われる。

●便別運行回数及び運行率 (H25.10～H26.1)

エリア		1便 (9:00)	2便 (10:00)	3便 (11:00)	4便 (12:00)	5便 (13:00)	6便 (14:00)	7便 (15:00)	8便 (16:00)	計
上部西	運行回数	72	123	113	112	86	76	45	53	680
	運行率	45.0%	76.9%	70.6%	70.0%	53.8%	47.5%	28.1%	33.1%	53.1%
上部東	運行回数	80	106	106	91	77	66	73	74	673
	運行率	50.0%	66.3%	66.3%	56.9%	48.1%	41.3%	45.6%	46.3%	52.6%
川東	運行回数	64	82	58	70	52	41	36	25	428
	運行率	40.0%	51.3%	36.3%	43.8%	32.5%	25.6%	22.5%	15.6%	33.4%
計	運行回数	216	311	277	273	215	183	154	152	1781
	運行率	45.0%	64.8%	57.7%	56.9%	44.8%	38.1%	32.1%	31.7%	46.4%

※各エリア、1便当たりの最大運行回数は、160回(80日×2台)

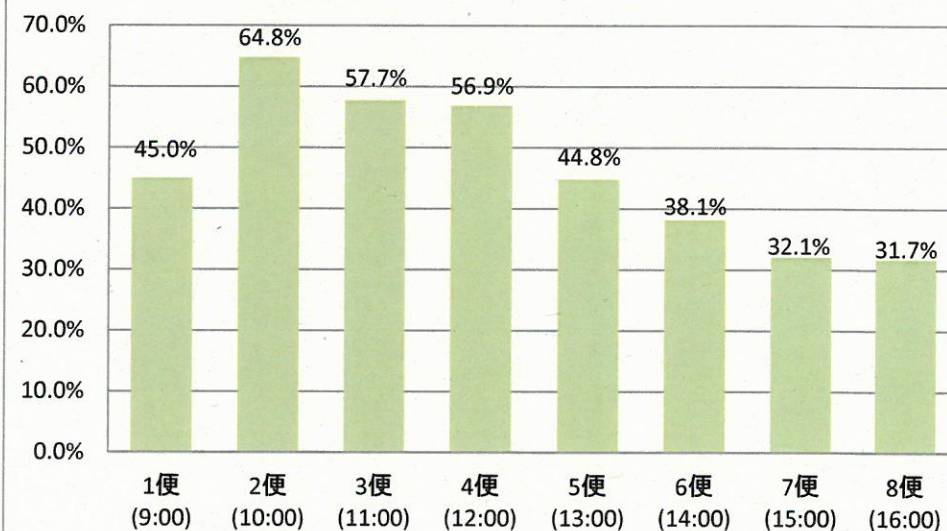
○各エリア、1便当たりの最大運行台数を2台とし、予約人数や方向等を勘案して、1台で運行が難しい場合は2台目を出していただく方法をとっている。したがって、運行率が50%以上であれば、その時間帯は、平均して毎日運行していることとなる。

○10月から1月の平均運行率は46.4%であり、拡大前の平成25年度上半期(H25.4～H25.9)の32.5%と比べ上昇している。現状では、定員オーバーで予約をお断りするケースもほとんどなく、当面2台体制で対応可能と思われる。

○運行率の高い時間帯は、2便(10:00)の64.8%、3便(11:00)の57.7%、4便(12:00)の56.9%の順であり、午前中の利用が多いことが分かる。

また、最も運行率の低い時間帯は最終便の8便(16:00)であるが、それでも平均31.7%の運行があり、全時間帯で運行需要はあると思われる。

平均運行率(便別・全エリア合計)



● 一台当たりの利用者数 (H25.10~H26.1)

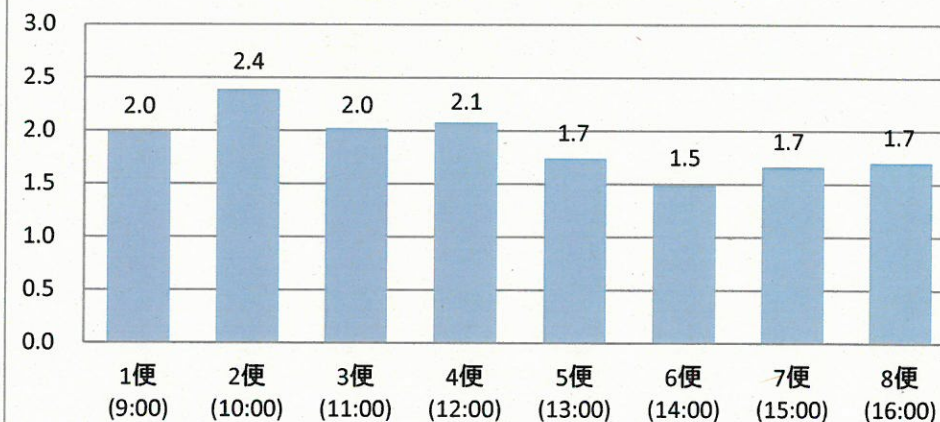
エリア		1便 (9:00)	2便 (10:00)	3便 (11:00)	4便 (12:00)	5便 (13:00)	6便 (14:00)	7便 (15:00)	8便 (16:00)	計
上部西	利用人数	146	286	259	230	159	120	61	79	1340
	一台当たり	2.0	2.3	2.3	2.1	1.8	1.6	1.4	1.5	2.0
上部東	利用人数	170	284	211	214	135	92	145	147	1398
	一台当たり	2.1	2.7	2.0	2.4	1.8	1.4	2.0	2.0	2.1
川東	利用人数	114	172	90	124	80	60	50	33	723
	一台当たり	1.8	2.1	1.6	1.8	1.5	1.5	1.4	1.3	1.7
計	利用人数	430	742	560	568	374	272	256	259	3461
	一台当たり	2.0	2.4	2.0	2.1	1.7	1.5	1.7	1.7	1.9

○一台当たりの利用者数は、3エリア合計で1.9人であり、拡大前の平成25年度上半期(H25.4~H25.9)の1.6人と比べ増加している。現在も増加傾向にあり、既に12月と1月実績では2人を超えていることから、平均でも、近い将来2人以上になると思われる。

○乗合率の高い時間帯は、2便(10:00)の2.4人、4便(12:00)の2.1人、1便(9:00)と3便(11:00)の2.0人の順であり、運行率と同様に、午前中の利用が多いことが分かる。

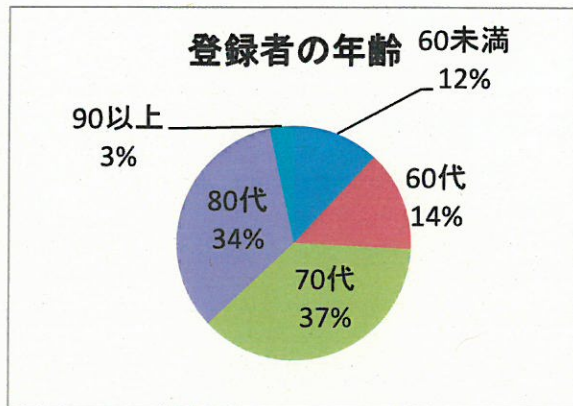
○エリア別にみると、上部のエリアがすでに平均2人を超えており、その中でも、最も乗合率の高い便は、上部東エリアの2便(10:00)で2.7人となっており、3人~4人運行も多くみられるようになった。

一台当たりの利用人数 (便別・全エリア合計)

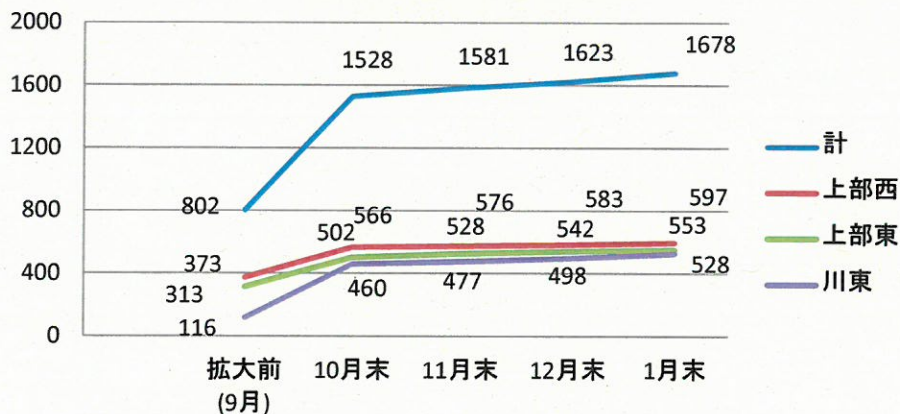


●登録者数の推移

エリア	拡大前(9月)		10月末		11月末		12月末		1月末	
	登録者数	登録世帯数	登録者数	登録世帯数	登録者数	登録世帯数	登録者数	登録世帯数	登録者数	登録世帯数
上部西	373	219	566	348	576	355	583	360	597	368
上部東	313	188	502	308	528	327	542	334	553	341
川東	116	60	460	273	477	284	498	296	528	312
計	802	467	1528	929	1581	966	1623	990	1678	1021



登録者数の推移



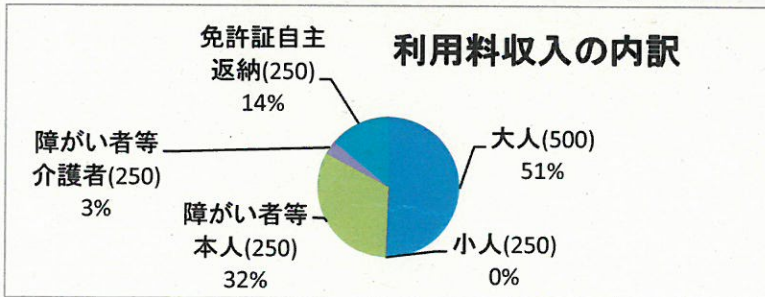
- 平成25年10月のエリア拡大後、登録者数は拡大前の802人から1,678人に、登録世帯数は467世帯から1,021世帯にそれぞれ倍増している。特に、それまで利用対象地域が荷内・阿島地域のみだった川東エリアが約5倍に増加しており、各エリアの登録者数は、ほぼ横並びとなった。
- 登録者の内訳をみると、性別では男が約35%、女が約65%、年齢別では60歳以上が約88%を占めている。なお、最も多い年代は70代で約37%、次いで80代が約34%である。

●登録者の内訳(1月末現在)

エリア	人数	性別		年齢別		小学校区別 ※大島は校区として取り扱う										
		男	女	60未満	60以上	中萩	大生院	泉川	角野	船木	多喜浜	高津	神郷	垣生	浮島	大島
上部西	597	216	381	82	515	373	159	6	59							
上部東	553	197	356	54	499			122	71	360						
川東	528	181	347	64	464						176	141	131	57	14	9
計	1678	594	1084	200	1478	373	159	128	130	360	176	141	131	57	14	9
割合		35.4%	64.6%	11.9%	88.1%	22.2%	9.5%	7.6%	7.7%	21.5%	10.5%	8.4%	7.8%	3.4%	0.8%	0.5%

●利用料収入の内訳 (H25.10~H26.1)

エリア	区分	10月			11月			12月			1月			計			
		人数	割合	金額	人数	割合	金額	人数	割合	金額	人数	割合	金額	人数	割合	金額	
上部西	大人(500)	173	52.9%	86,500	178	48.1%	89,000	178	52.4%	89,000	161	53.1%	80,500	690	51.5%	345,000	
	小人(250)	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	
	大人 障がい者等(250)	本人	90	27.5%	22,500	98	26.5%	24,500	105	30.9%	26,250	80	26.4%	20,000	373	27.8%	93,250
	障がい者等(250)	介護者	9	2.8%	2,250	17	4.6%	4,250	16	4.7%	4,000	17	5.6%	4,250	59	4.4%	14,750
	運転免許証自主返納者(250)		55	16.8%	13,750	77	20.8%	19,250	41	12.1%	10,250	45	14.9%	11,250	218	16.3%	54,500
	上部西計	327		125,000	370		137,000	340		129,500	303		116,000	1340		507,500	
上部東	大人(500)	115	33.9%	57,500	140	42.6%	70,000	196	49.9%	98,000	158	46.9%	79,000	609	43.6%	304,500	
	小人(250)	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	
	大人 障がい者等(250)	本人	168	49.6%	42,000	127	38.6%	31,750	156	39.7%	39,000	139	41.2%	34,750	590	42.2%	147,500
	障がい者等(250)	介護者	8	2.4%	2,000	5	1.5%	1,250	3	0.8%	750	6	1.8%	1,500	22	1.6%	5,500
	運転免許証自主返納者(250)		48	14.2%	12,000	57	17.3%	14,250	38	9.7%	9,500	34	10.1%	8,500	177	12.7%	44,250
	上部東計	339		113,500	329		117,250	393		147,250	337		123,750	1398		501,750	
川東	大人(500)	115	65.7%	57,500	110	58.8%	55,000	111	64.2%	55,500	114	60.6%	57,000	450	62.2%	225,000	
	小人(250)	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	
	大人 障がい者等(250)	本人	41	23.4%	10,250	52	27.8%	13,000	28	16.2%	7,000	34	18.1%	8,500	155	21.4%	38,750
	障がい者等(250)	介護者	8	4.6%	2,000	8	4.3%	2,000	4	2.3%	1,000	9	4.8%	2,250	29	4.0%	7,250
	運転免許証自主返納者(250)		11	6.3%	2,750	17	9.1%	4,250	30	17.3%	7,500	31	16.5%	7,750	89	12.3%	22,250
	川東計	175		72,500	187		74,250	173		71,000	188		75,500	723		293,250	
合計	大人(500)	403	47.9%	201,500	428	48.3%	214,000	485	53.5%	242,500	433	52.3%	216,500	1,749	50.5%	874,500	
	小人(250)	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	
	大人 障がい者等(250)	本人	299	35.6%	74,750	277	31.3%	69,250	289	31.9%	72,250	253	30.6%	63,250	1,118	32.3%	279,500
	障がい者等(250)	介護者	25	3.0%	6,250	30	3.4%	7,500	23	2.5%	5,750	32	3.9%	8,000	110	3.2%	27,500
	運転免許証自主返納者(250)		114	13.6%	28,500	151	17.0%	37,750	109	12.0%	27,250	110	13.3%	27,500	484	14.0%	121,000
	全エリア合計	841		311,000	886		328,500	906		347,750	828		315,250	3,461		1,302,500	



○平成25年10月のエリア拡大後(H25.10~H26.1・80日間)の利用料収入は、1,302,500円で、運行台数(1781台)で割ると、一台当たりの平均収入は、約731円であった。

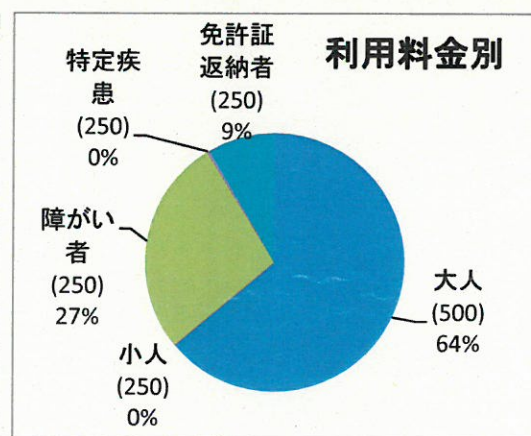
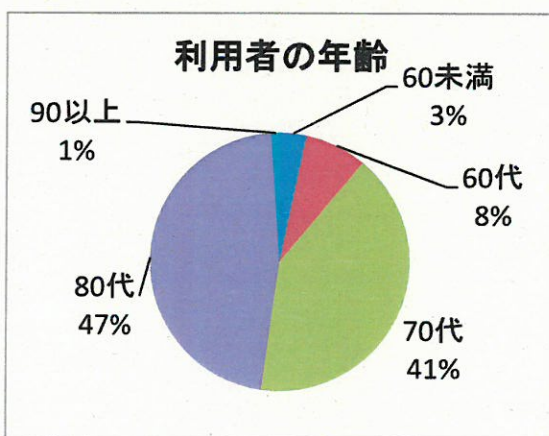
○利用料収入の内訳は、全エリア合計で、大人(500円)が約51%、割引者(250円)が約49%であり、ほぼ1:1の割合となっている。

●利用者(実人数)の内訳 (H25.10～H26.1)

エリア	実人数	性別		小学校区別 ※大島は校区として取り扱う										
		男	女	中萩	大生院	泉川	角野	船木	多喜浜	高津	神郷	垣生	浮島	大島
上部西	99	18	81	61	27	0	11							
上部東	93	19	74			21	11	61						
川東	80	17	63						38	17	18	6	0	1
計	272	54	218	61	27	21	22	61	38	17	18	6	0	1
割合		19.9%	80.1%	22.4%	9.9%	7.7%	8.1%	22.4%	14.0%	6.3%	6.6%	2.2%	0.0%	0.4%

エリア	実人数	年齢別					料金別					割引者の内訳		
		60未満	60代	70代	80代	90以上	大人(500)	小人(250)	未就学(無料)	大人割引者(250)	小人割引者(130)	障がい者(250)	特定疾患(250)	免許証返納者(250)
上部西	99	2	9	37	50	1	65	0	0	34	0	22	1	11
上部東	93	4	7	39	42	1	59	0	0	34	0	28	0	6
川東	80	3	5	36	35	1	50	0	0	30	0	24	0	6
計	272	9	21	112	127	3	174	0	0	98	0	74	1	23
割合		3.3%	7.7%	41.2%	46.7%	1.1%	64.0%	0.0%	0.0%	36.0%	0.0%	75.5%	1.0%	23.5%

※割引者は、割引対象者の人数であり、介護者は含まない。



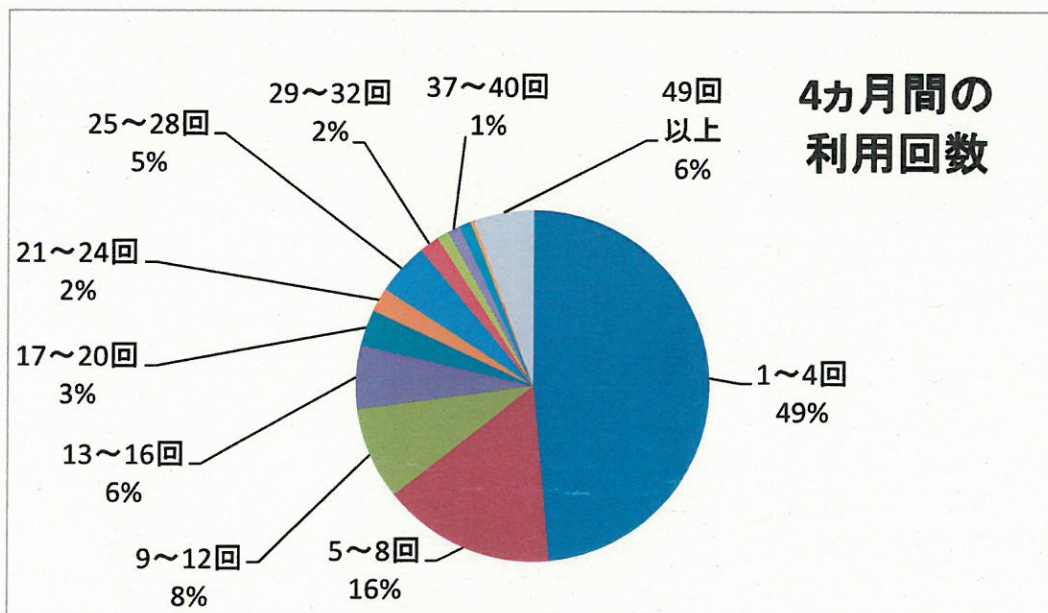
○平成25年10月から26年1月までの4ヶ月間で、デマンドタクシーを利用された方は272人で、登録者1678人(1月末現在)に占める利用者の割合は、16.2%である。

○性別では、約8割が女性、年齢別では、60歳以上が約97%、70歳以上でも約89%を占めている。

料金別では、割引対象者が約36%を占めている。なお、割引対象者の内訳は、身体障害者手帳保有者が75.5%、特定疾患医療受給者証保有者が1%、運転免許証自主返納者が約23.5%であった。

●利用回数 (H25.10～H26.1)

エリア	実人数	平成25年10月～平成26年1月(4ヶ月)の利用回数													49回以上利用者の内訳
		1～4回	5～8回	9～12回	13～16回	17～20回	21～24回	25～28回	29～32回	33～36回	37～40回	41～44回	45～48回	49回以上	
上部西	99	45	17	4	9	2	3	8	2	2	1	2	0	4	52回、64回、127回、138回
上部東	93	43	16	9	3	2	2	3	2	0	1	1	1	10	50回台4人、60回台3人、75回、112回、126回
川東	80	44	10	10	4	5	1	2	1	1	1			1	125回
計	272	132	43	23	16	9	6	13	5	3	3	3	1	15	
割合		48.5%	15.8%	8.5%	5.9%	3.3%	2.2%	4.8%	1.8%	1.1%	1.1%	1.1%	0.4%	5.5%	



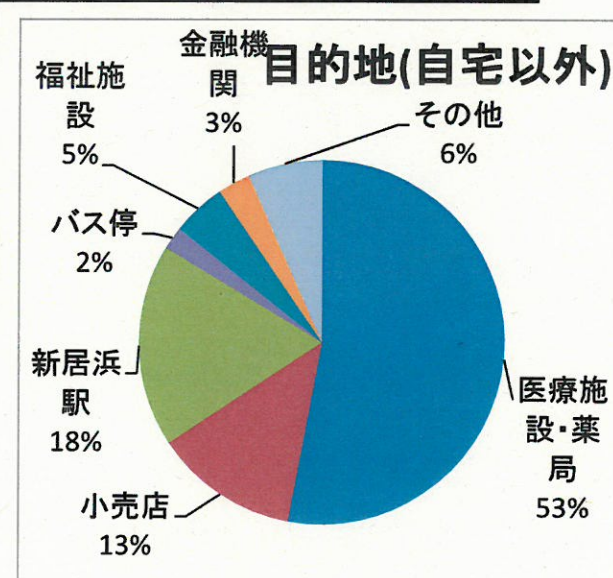
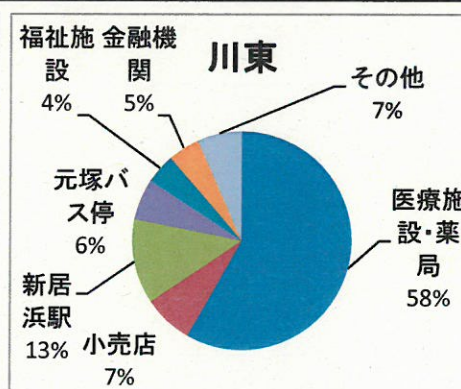
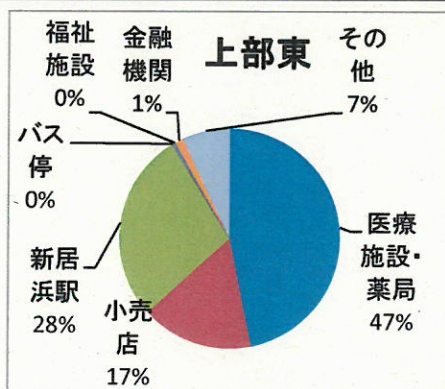
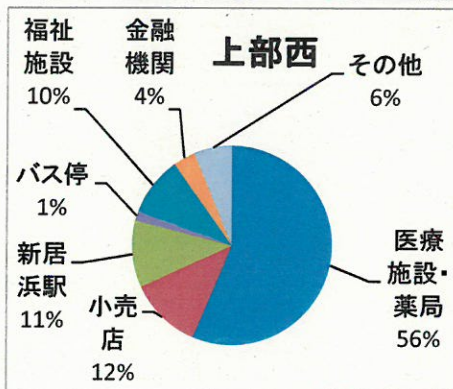
○4ヶ月(80日)の利用回数(往復利用の場合は2回)を集計した。

○最も多かったのは、平均すると月に1回までの利用となる4回までで約半数の49%、次に、8回までが約16%、12回までが約8%と続いている。

○逆に、平均すると週1回以上の利用となる17回以上が約19%、その中でも、80日間で100回以上利用された方が、各エリアにいらっしやった。

●自宅以外の目的地 (H25.10～H26.1)

エリア	計	目的地(自宅以外)															
		医療施設・薬局	福祉施設	金融機関	理美容室	小売店	その他商業施設	新居浜駅	多喜浜駅	中萩駅	元塚バス停	東城バス停	その他バス停	黒島港	公民館	市役所支所	その他公共施設
上部西	776	437	75	28	20	92	13	84	0	0	0	3	9	0	13	1	1
	割合	56.3%	9.7%	3.6%	2.6%	11.9%	1.7%	10.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	1.2%	0.0%	1.7%	0.1%	0.1%
上部東	784	367	1	10	11	129	31	219	0	0	0	1	2	0	1	1	11
	割合	46.8%	0.1%	1.3%	1.4%	16.5%	4.0%	27.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.3%	0.0%	0.1%	0.1%	1.4%
川東	407	237	18	19	6	30	6	51	5	0	25	0	0	3	4	1	2
	割合	58.2%	4.4%	4.7%	1.5%	7.4%	1.5%	12.5%	1.2%	0.0%	6.1%	0.0%	0.0%	0.7%	1.0%	0.2%	0.5%
計	1967	1041	94	57	37	251	50	354	5	0	25	4	11	3	18	3	14
	割合	52.9%	4.8%	2.9%	1.9%	12.8%	2.5%	18.0%	0.3%	0.0%	1.3%	0.2%	0.6%	0.2%	0.9%	0.2%	0.7%

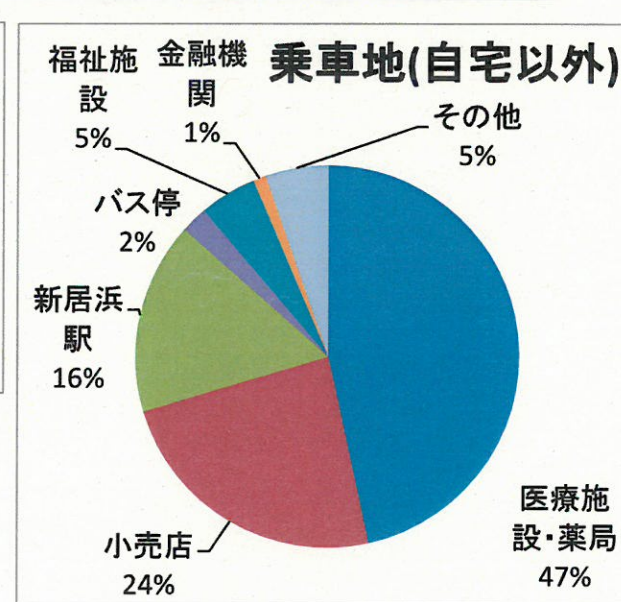
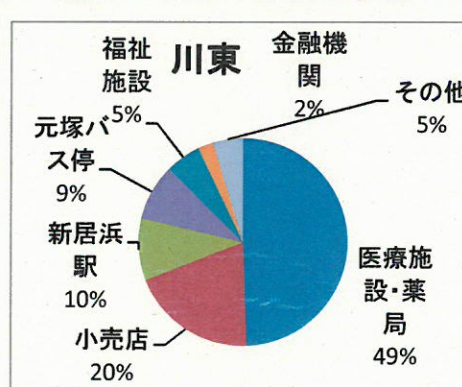
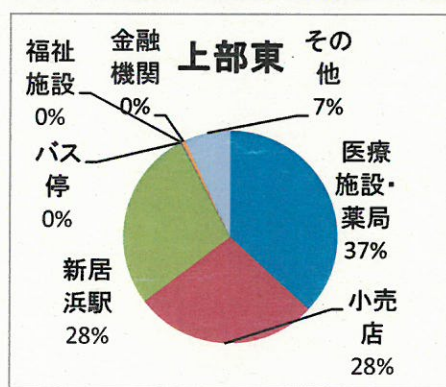
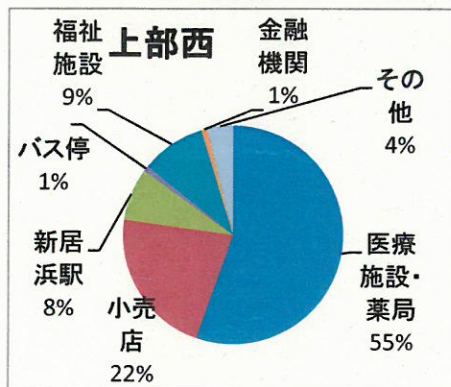


○自宅を除く目的地を分類すると、3エリア合計では、医療施設・薬局(約53%)、新居浜駅(約18%)、スーパー等小売店(約13%)の順であり、行きの半数以上は受診目的で、買い物や駅周辺・中心市街地等への移動と合わせると、8割以上を占めることになる。

○最も新居浜駅を目的地とする割合が高いのは上部東エリアで、全体の約28%を占め、駅周辺や中心市街地へ多くの方が移動していることがわかる。

●自宅以外の乗車地 (H25.10～H26.1)

エリア	計	乗車地(自宅以外)															
		医療施設・薬局	福祉施設	金融機関	理美容室	小売店	その他商業施設	新居浜駅	多喜浜駅	中萩駅	元塚バス停	東城バス停	その他バス停	黒島港	公民館	市役所支所	その他公共施設
上部西	598	331	57	5	5	131	11	46		0	0	1	4	0	7	0	0
	割合	55.4%	9.5%	0.8%	0.8%	21.9%	1.8%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.7%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%
上部東	648	239	0	4	4	180	26	179	0	0	0	1	0	0	0	0	15
	割合	36.9%	0.0%	0.6%	0.6%	27.8%	4.0%	27.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%
川東	342	169	19	8	2	67	3	33	5	0	30	0	0	3	2	0	1
	割合	49.4%	5.6%	2.3%	0.6%	19.6%	0.9%	9.6%	1.5%	0.0%	8.8%	0.0%	0.0%	0.9%	0.6%	0.0%	0.3%
計	1588	739	76	17	11	378	40	258	5	0	30	1	5	3	9	0	16
	割合	46.5%	4.8%	1.1%	0.7%	23.8%	2.5%	16.2%	0.3%	0.0%	1.9%	0.1%	0.3%	0.2%	0.6%	0.0%	1.0%



○自宅を除く乗車地を分類すると、3エリア合計では、医療施設・薬局(約47%)、スーパー等小売店(約24%)、新居浜駅(約16%)の順であり、目的地と同様に、この3種類で8割以上を占めている。

○目的地と比較すると、医療施設・薬局から乗る割合が減り、かわって、スーパー等小売店から乗る割合が増えているのが特徴で、受診後に、近くのスーパーなどで買い物をして、そこへ迎えに来てもらうケースが見受けられる。

●拡大後の運行収支状況（H25.10～H26.1）

○拡大後の4ヵ月間の運行に係る収支をみると、運行事業費5,717,010円(1,781台分)の財源内訳は、利用料収入が約23%、国庫補助見込額が約33%、残額となる新居浜市負担金が約44%となっている。

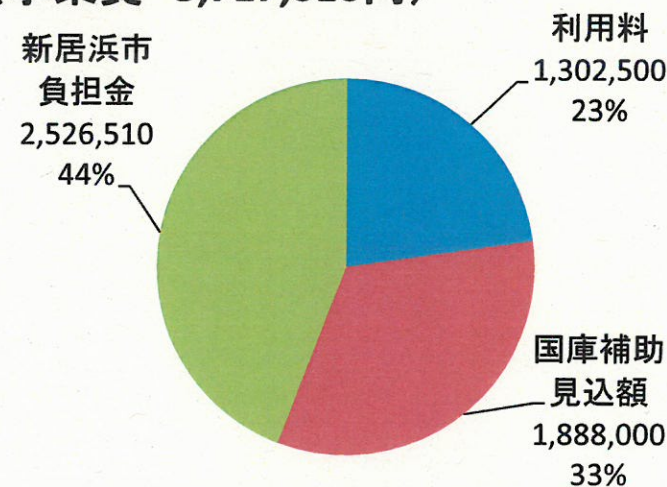
歳出

項目	金額	積算根拠
運行事業費	上部西	2,182,800 @3,210×680台
	上部東	2,160,330 @3,210×673台
	川東	1,373,880 @3,210×428台
合計	5,717,010	@3,210×1,781台

歳入（国庫補助金は見込額）

項目	金額	積算根拠
利用料収入	上部西	507,500 利用人数 1,340人
	上部東	501,750 利用人数 1,398人
	川東	293,250 利用人数 723人
	小計	1,302,500 利用人数 3,461人
国庫補助見込額	1,888,000	内定額12,414,000円×80日/244日×運行率46.4%
新居浜市負担金	2,526,510	運行事業費-利用料収入-国庫補助見込額
合計	5,717,010	

拡大後の運行収支状況 (事業費 5,717,010円)



※国庫補助金は事前内定方式であり、平成25年10月から平成26年9月までの補助金は、3事業者あわせて12,414,000円の内定を受けている。この内定額は、244日間、1便当たり2台運行した場合の金額であることから、平成25年10月から平成26年1月までの80日間、平均運行率46.4%の補助見込額を、1,888,000円とした。

なお、この国庫補助金は、補助対象期間が終了した後に確定されるため、来年度(平成27年3月頃)に交付される見込みである。

デマンドタクシー市民アンケート集計結果(速報値)

●アンケート回収状況

回収率	
配布	回収
2000	727 36.4%

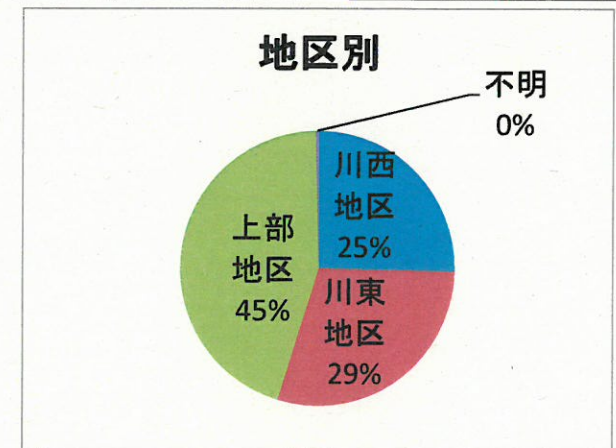
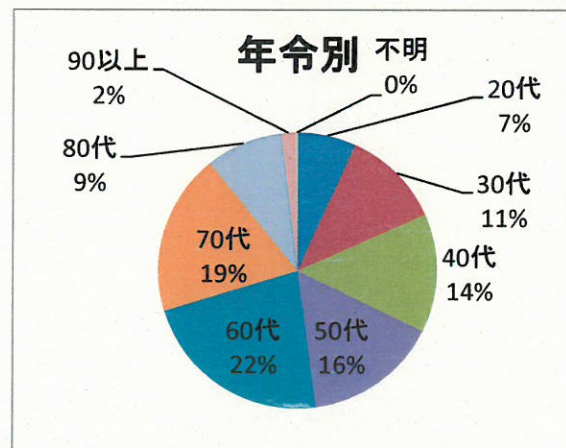
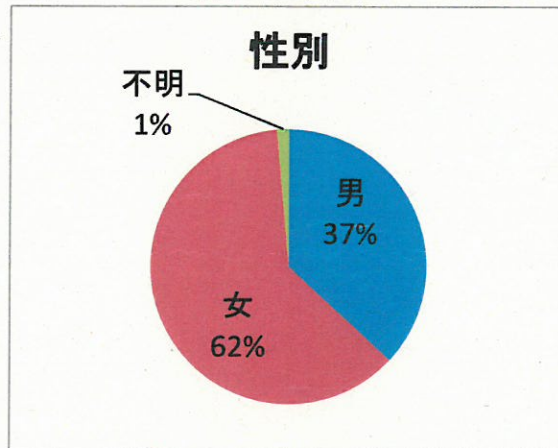
○市民アンケートは、平成25年12月末現在の20歳以上の市民2,000人を無作為抽出して、平成26年1月15日から1月31日まで郵送により実施し、727人から回答があった。回収率は36.4%である。

○回答者の属性は、男性が約37%、女性が約62%、年齢別では、下表のとおりである。また、地区別では、上部地区が約45%、川東地区が約29%、川西地区が約25%であり、平成25年12月末現在の住民基本台帳による地区割合(上部44.8%、川東28.0%、川西27.0%)とほぼ同じであった。

●回答者の属性

性別			年齢別								
男	女	不明	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90以上	不明
268	449	10	49	84	101	114	163	137	65	12	2
36.9%	61.8%	1.4%	6.7%	11.6%	13.9%	15.7%	22.4%	18.8%	8.9%	1.7%	0.3%

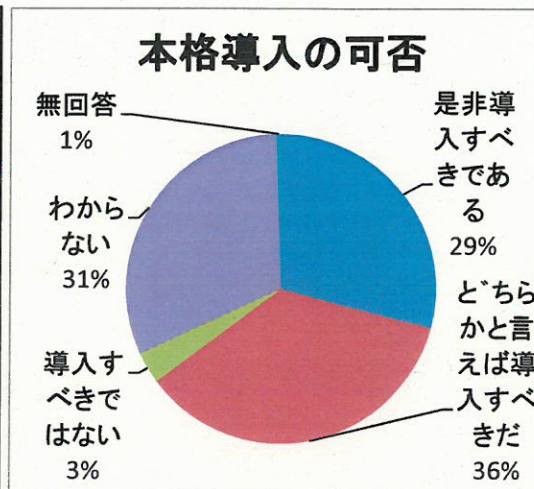
地区別 (大島は校区として集計)																	
新居浜	宮西	金子	金栄	惣開	若宮	5.高津	浮島	垣生	神郷	多喜浜	大島	泉川	中萩	船木	大生院	角野	不明
33	27	77	27	13	7	77	18	29	66	23	1	55	119	40	29	83	3
4.5%	3.7%	10.6%	3.7%	1.8%	1.0%	10.6%	2.5%	4.0%	9.1%	3.2%	0.1%	7.6%	16.4%	5.5%	4.0%	11.4%	0.4%
川西地区						川東地区						上部地区				不明	
184						214						326				3	
25.3%						29.4%						44.8%				0.4%	



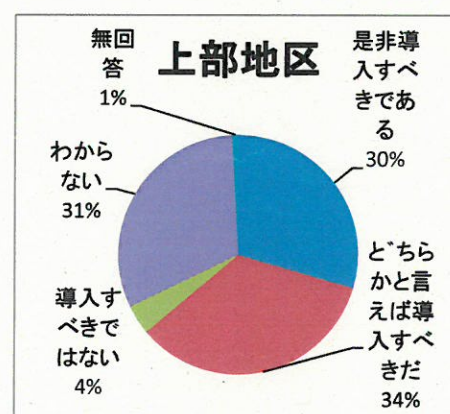
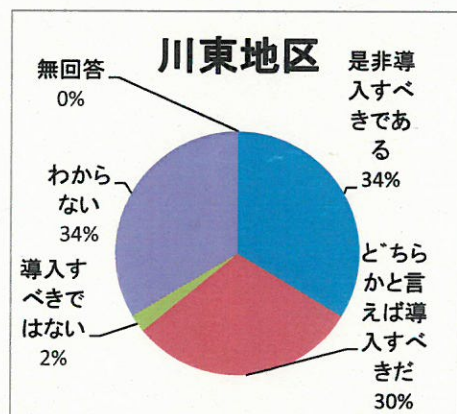
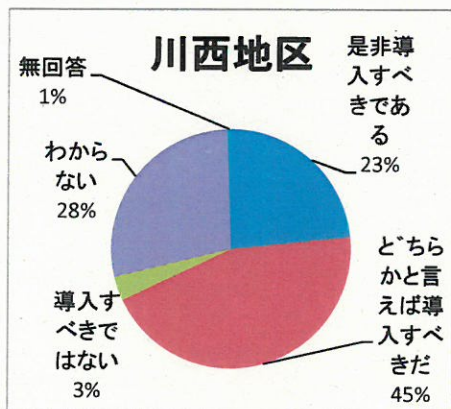
●10月以降の本格導入の可否

地区別

校 区	回答数	是非導入すべきである	率	どちらかと言えば導入すべきだ	率	導入すべきではない	率	わからない	率	無回答	率
新居浜	33	8	24.2%	13	39.4%	1	3.0%	10	30.3%	1	3.0%
宮西	27	6	22.2%	10	37.0%	2	7.4%	9	33.3%	0	0.0%
金子	77	19	24.7%	33	42.9%	2	2.6%	23	29.9%	0	0.0%
金栄	27	7	25.9%	13	48.1%	1	3.7%	6	22.2%	0	0.0%
惣開	13	3	23.1%	7	53.8%	0	0.0%	3	23.1%	0	0.0%
若宮	7	0	0.0%	6	85.7%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%
川西地区計	184	43	23.4%	82	44.6%	6	3.3%	52	28.3%	1	0.5%
高津	77	25	32.5%	27	35.1%	3	3.9%	22	28.6%	0	0.0%
浮島	18	7	38.9%	5	27.8%	0	0.0%	6	33.3%	0	0.0%
垣生	29	9	31.0%	10	34.5%	0	0.0%	10	34.5%	0	0.0%
神郷	66	15	22.7%	18	27.3%	2	3.0%	31	47.0%	0	0.0%
多喜浜	23	15	65.2%	5	21.7%	0	0.0%	3	13.0%	0	0.0%
大島	1	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
川東地区計	214	72	33.6%	65	30.4%	5	2.3%	72	33.6%	0	0.0%
泉川	55	8	14.5%	21	38.2%	1	1.8%	25	45.5%	0	0.0%
中萩	119	34	28.6%	44	37.0%	7	5.9%	33	27.7%	1	0.8%
船木	40	16	40.0%	14	35.0%	0	0.0%	9	22.5%	1	2.5%
大生院	29	13	44.8%	9	31.0%	0	0.0%	7	24.1%	0	0.0%
角野	83	25	30.1%	24	28.9%	5	6.0%	28	33.7%	1	1.2%
上部地区計	326	96	29.4%	112	34.4%	13	4.0%	102	31.3%	3	0.9%
不明	3	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	2	66.7%	0	0.0%
計	727	211	29.0%	260	35.8%	24	3.3%	228	31.4%	4	0.6%



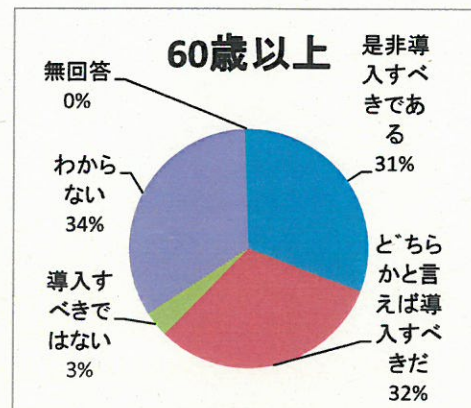
○回答の内訳は、「是非本格導入すべきである」が約29%、「どちらかと言えば本格導入すべきだ」が約36%、「本格導入すべきでない」が約3%、「わからない」が約31%であり、「是非本格導入すべきである」と「どちらかと言えば本格導入すべきだ」を合わせると、約65%の方が本格導入を望み、「導入すべきでない」と考える人は少ないことが分かる。



なお、地区別にみても、デマンドタクシー導入を望む割合は、川西、川東、上部地区共に60%以上であり、大きな差はない。

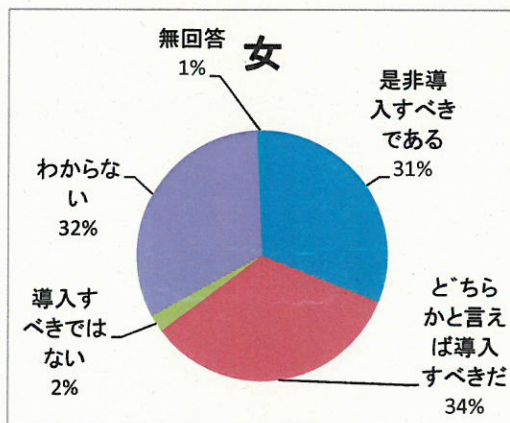
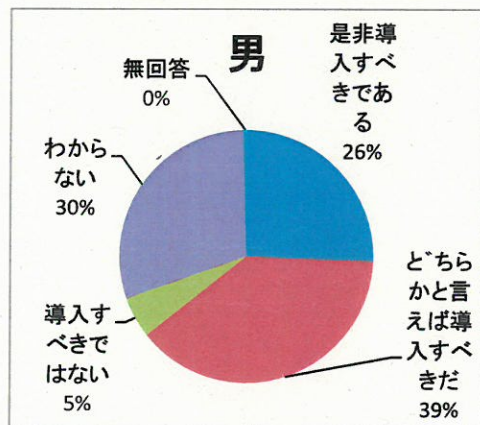
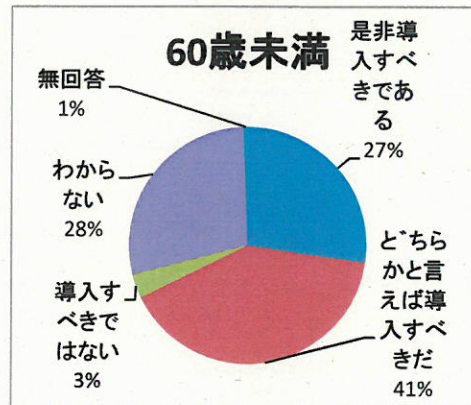
年令別

年令	回答数	是非導入すべきである	率	どちらかと言えば導入すべきだ	率	導入すべきではない	率	わからない	率	無回答	率
20代	49	13	26.5%	16	32.7%	1	2.0%	19	38.8%	0	0.0%
30代	84	31	36.9%	26	31.0%	3	3.6%	23	27.4%	1	1.2%
40代	101	20	19.8%	49	48.5%	3	3.0%	28	27.7%	1	1.0%
50代	114	31	27.2%	50	43.9%	4	3.5%	29	25.4%	0	0.0%
60歳未満計	348	95	27.3%	141	40.5%	11	3.2%	99	28.4%	2	0.6%
60代	163	50	30.7%	56	34.4%	8	4.9%	49	30.1%	0	0.0%
70代	137	34	24.8%	48	35.0%	4	2.9%	50	36.5%	1	0.7%
80代	65	26	40.0%	14	21.5%	1	1.5%	23	35.4%	1	1.5%
90代以上	12	6	50.0%	1	8.3%	0	0.0%	5	41.7%	0	0.0%
60歳以上計	377	116	30.8%	119	31.6%	13	3.4%	127	33.7%	2	0.5%
年令不明	2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%
計	727	211	29.0%	260	35.8%	24	3.3%	228	31.4%	4	0.6%



性別

年令	回答数	是非導入すべきである	率	どちらかと言えば導入すべきだ	率	導入すべきではない	率	わからない	率	無回答	率
男	266	68	25.6%	103	38.7%	14	5.3%	80	30.1%	1	0.4%
女	448	139	31.0%	151	33.7%	10	2.2%	145	32.4%	3	0.7%
性別不明	10	4	40.0%	4	40.0%	0	0.0%	2	20.0%	0	0.0%
計	724	211	29.1%	258	35.6%	24	3.3%	227	31.4%	4	0.6%

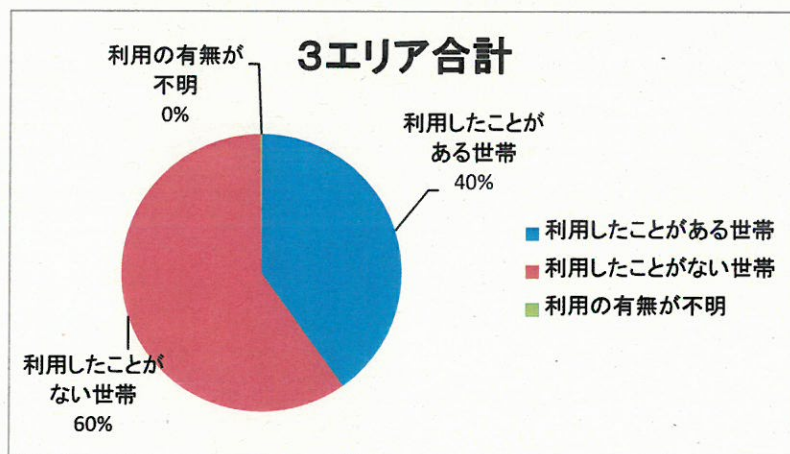


○本格導入の可否を年令別にみると、本格導入を希望する人は男女共約65%であり、差は見られない。
また、年令別にみても、60歳以上と60歳未満で大きな差はなく、高齢者だけでなく、若年層も本格導入を希望する人は多いことが分かる。

デマンドタクシー登録者アンケート集計結果(速報値)

●アンケート回収状況

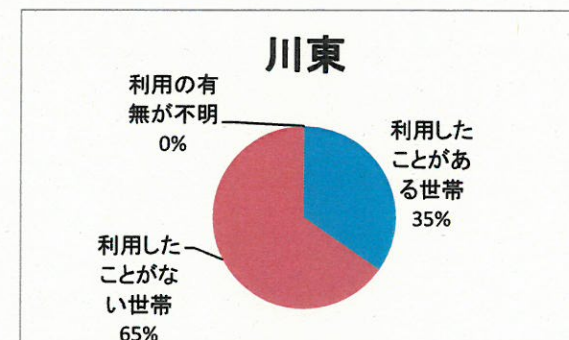
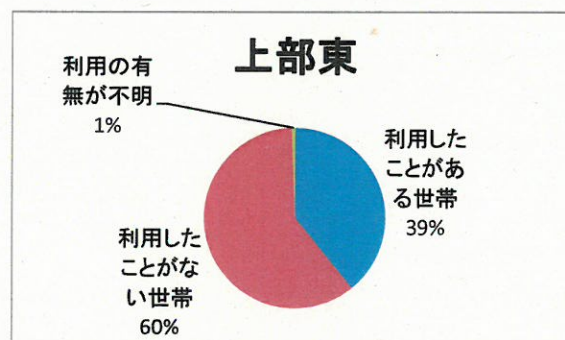
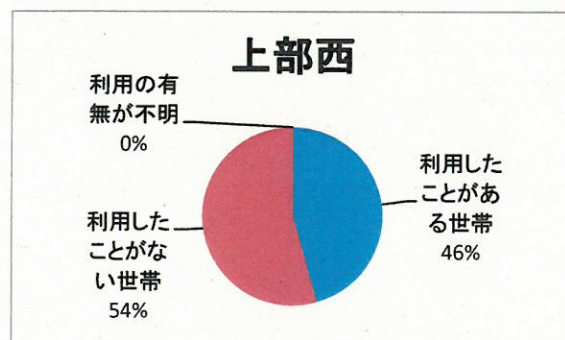
エリア	対象世帯数	回収世帯数	回収率	利用したことがある世帯	率	利用したことがない世帯	率	利用の有無が不明	率
上部西	360	193	53.6%	88	45.6%	105	54.4%	0	0.0%
上部東	334	171	51.2%	67	39.2%	103	60.2%	1	0.6%
川東	296	147	49.7%	51	34.7%	96	65.3%	0	0.0%
不明		3		0	0.0%	3	100.0%	0	0.0%
計	990	514	51.9%	206	40.1%	307	59.7%	1	0.2%



○アンケートは、平成25年12月末現在の登録世帯990世帯を対象に、平成26年1月15日から1月31日まで郵送により実施し513世帯から回答があった。回収率は51.9%である。

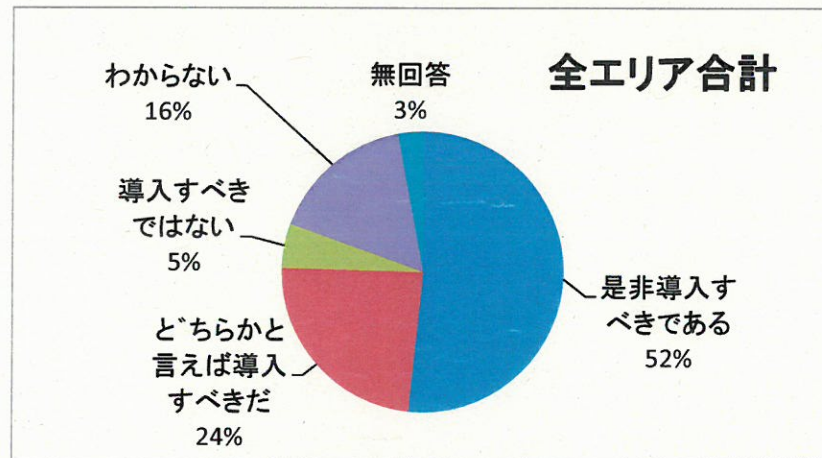
なお、回収率をエリア別に見ても、上部西53.6%、上部東51.2%、川東49.7%と、全エリア共50%前後の回収率となっている。

○回収世帯514世帯の内、これまで利用したことがある世帯が約40%、利用したことがない世帯が約60%であった。



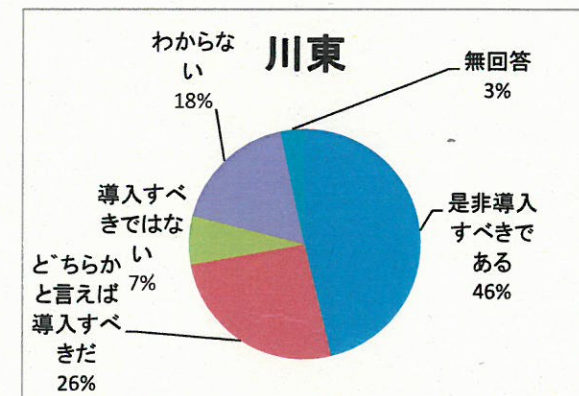
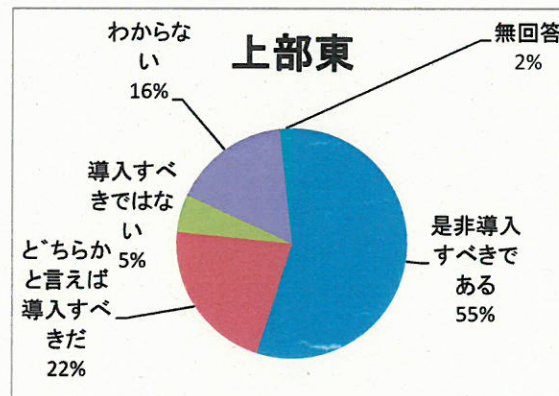
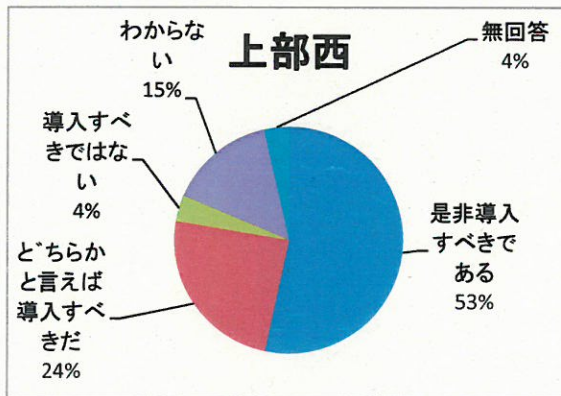
●10月以降の本格導入の可否

エリア	回答世帯数	是非導入すべきである	率	どちらかと言えば導入すべきだ	率	導入すべきではない	率	わからない	率	無回答	率
上部西	193	103	53.4%	47	24.4%	7	3.6%	29	15.0%	7	3.6%
上部東	171	94	55.0%	37	21.6%	9	5.3%	28	16.4%	3	1.8%
川東	147	68	46.3%	38	25.9%	10	6.8%	26	17.7%	5	3.4%
不明	3	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	66.7%	0	0.0%
計	514	265	51.6%	122	23.7%	26	5.1%	85	16.5%	15	2.9%



○回答の内訳は、「是非本格導入すべきである」が約52%、「どちらかと言えば本格導入すべきだ」が約24%、「本格導入すべきではない」が約5%、「わからない」が約16%であり、「是非本格導入すべきである」と「どちらかと言えば本格導入すべきだ」を合わせると、約76%の登録世帯が、本格導入を望んでいることが分かる。

なお、エリア別にみても、傾向は似ており、最も導入を希望する割合が低い川東エリアでも、70%以上の方が導入を希望している。



都市交通戦略の見直しについて

第2回協議会（H25.11.11）において、委員の皆様にご協議いただいた、新居浜市都市交通戦略見直し一覧表①②の内容を、今回送付しております「新居浜市都市交通戦略（後期）案」に反映させております。反映内容は下記のとおりとなっております。

都市交通戦略 見直し一覧表①【取組内容・指標】

基本目標	基本方針	施策	主な取り組み	担当課	担当部署	取組内容	変更有無	取組内容変更理由	指標				見直し後目標値と異なる理由	
									前期	計画指標(H19)実績値	現況値(H24実績)	平成30年度末目標値		平成30年度末実績値
①誰もが便利に使える公共交通の構築	公共交通環境の改善	交通結節点の整備	1-①-VI	都市計画課	B	交通結節点とは、異なる交通手段(場合によっては別交通手段)を相互に連絡する乗り換え・乗り継ぎ施設です。また、単に交通結節点を整備しただけでは、乗込駅も合わせて人の交流を促進し、街のにぎわいを生み出す効果も期待することが必要です。本市でも、新居浜駅前広場整備事業(新居浜駅前広場整備事業)や、JR新居浜駅前広場(新居浜駅前広場)の整備を進めており、訪れる人々の利便性も考慮した街づくりを進めています。								
						このため、バスやタクシー等の公共交通と一体的な取組を進め、新たな交通広場と、出会いの場である人の広場からなる駅前広場を整備してまいります。								
						新居浜市では、大島の島民の生活交通として、本土の黒島から大島間で渡海船を約1時間おきに1日15往復運航しており、今後も引き続き渡海船を運航します。また、平成14年に建造した「くろしま」と平成23年に建造した交通バリアフリー法「リアフリー」に適合した新造船「おしま7」の2隻で運航しています。								
						新居浜市では、地域の生活交通として、民間のバス会社が路線バスを運行しています。また、地域の生活交通として、民間のバス会社が路線バスを運行しています。また、地域の生活交通として、民間のバス会社が路線バスを運行しています。								
②誰もが便利に使える公共交通の構築	新たな公共交通の導入	島民の生活交通の確保	1-①-VI	運輸観光課	A	新居浜市では、大島の島民の生活交通として、本土の黒島から大島間で渡海船を約1時間おきに1日15往復運航しており、今後も引き続き渡海船を運航します。また、平成14年に建造した「くろしま」と平成23年に建造した交通バリアフリー法「リアフリー」に適合した新造船「おしま7」の2隻で運航しています。								
						新居浜市では、地域の生活交通として、民間のバス会社が路線バスを運行しています。また、地域の生活交通として、民間のバス会社が路線バスを運行しています。								
						新居浜市では、地域の生活交通として、民間のバス会社が路線バスを運行しています。また、地域の生活交通として、民間のバス会社が路線バスを運行しています。								
						新居浜市では、地域の生活交通として、民間のバス会社が路線バスを運行しています。また、地域の生活交通として、民間のバス会社が路線バスを運行しています。								
③誰もが便利に使える公共交通の構築	新たな公共交通の導入	多様な公共交通の導入	1-①-III	運輸観光課	A	タクシーは、地域に密着し、ドア・トゥ・ドアで輸送を行っている公共交通機関で、場所・時間・距離に柔軟に対応できるため、利用者のニーズに柔軟に対応できるメリットがあります。しかし、多額のタクシーの乗降は、地下鉄やバスに比べて、高い料金がかかります。また、乗降の安全サービスは、多額のタクシーに比べて、高い料金がかかります。また、乗降の安全サービスは、多額のタクシーに比べて、高い料金がかかります。								
						タクシーは、地域に密着し、ドア・トゥ・ドアで輸送を行っている公共交通機関で、場所・時間・距離に柔軟に対応できるため、利用者のニーズに柔軟に対応できるメリットがあります。しかし、多額のタクシーの乗降は、地下鉄やバスに比べて、高い料金がかかります。また、乗降の安全サービスは、多額のタクシーに比べて、高い料金がかかります。また、乗降の安全サービスは、多額のタクシーに比べて、高い料金がかかります。								
						タクシーは、地域に密着し、ドア・トゥ・ドアで輸送を行っている公共交通機関で、場所・時間・距離に柔軟に対応できるため、利用者のニーズに柔軟に対応できるメリットがあります。しかし、多額のタクシーの乗降は、地下鉄やバスに比べて、高い料金がかかります。また、乗降の安全サービスは、多額のタクシーに比べて、高い料金がかかります。また、乗降の安全サービスは、多額のタクシーに比べて、高い料金がかかります。								
						タクシーは、地域に密着し、ドア・トゥ・ドアで輸送を行っている公共交通機関で、場所・時間・距離に柔軟に対応できるため、利用者のニーズに柔軟に対応できるメリットがあります。しかし、多額のタクシーの乗降は、地下鉄やバスに比べて、高い料金がかかります。また、乗降の安全サービスは、多額のタクシーに比べて、高い料金がかかります。また、乗降の安全サービスは、多額のタクシーに比べて、高い料金がかかります。								

都市交通戦略 見直し一覧表②【実施プログラム】

基本目標	基本方針	施策	主な取り組み	担当課	いつまでに										変更有無	実施プログラム変更理由						
					短期 ~H25年度	中期 ~H30年度	長期 ~H40年度	いつまでも	どこで	ウ	だれが	だれが	だれが	だれが			だれが					
①誰もが便利に使える公共交通の構築	公共交通環境の改善	交通結節点の整備	1-①-VI	都市計画課																		
②誰もが便利に使える公共交通の構築	新たな公共交通の導入	島民の生活交通の確保	1-①-VI	運輸観光課																		
③誰もが便利に使える公共交通の構築	新たな公共交通の導入	多様な公共交通の導入	1-①-III	運輸観光課																		

→ 検討・調整
 → 実施
 H30以降も継続

○ 主体者
 △ 支援者

「新居浜市都市交通戦略（後期）案」

P12～ 主な取り組みの実施プログラム

基本目標 | 人や環境にやさしい交通の実現

基本方針 | 誰もが便利に使える公共交通の構築

施策 | 1) 公共交通環境の改善

主な取り組み | 島民の生活交通の確保 (1-①-VI) **担当課** 運輸観光課

取り組みの内容・実施プログラム

新居浜市では、大島の島民の生活交通として、本土の黒島から大島間で渡海船を約1時間おきに1日15往復運航しており、今後も引き続き渡海船を運航します。また、現在、平成14年に建造した「くろしま」と平成23年に建造した交通バリアフリー法に適合した新造船「おしま7」の2隻で運航をしています。

いつ	短期 (~H25年度)	中期 (~H30年度)	長期 (~H40年度)				
どこで	臨海部	中心市街地	周辺市街地	山間部			
だれが (○主体者) △支援者	市民	企業	交通事業者	警察	国	県	市

→ 検討・調整 → 実施 → H30以降も継続

指標	策定時 (H19)	現況値 (H24)	目標値
新型船の導入		新型船の導入 (H23.11.3~)	新型船の導入

総合評価 (前期 H21~H25) A



渡海船「おしま7」

※なお、「新居浜市都市交通戦略（後期）案」P8～11の都市交通戦略一覧にも見直し内容を反映しております。